

1 ねらい

・教育活動、その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき教育活動・学校運営の改善を図る。

2 アンケート実施期間 平成27年12月

3 対象者 生徒991名、全保護者932名（家庭数）、全教員51名

4 回答率（%）

	生徒	保護者	教員
回答数	957名	924名	51名
回答率	96.5%	99.1%	100%

※生徒1名について、1枚の評価をいただいた方もおります。

5 アンケート結果と考察

「そう思う、だいたいそう思う」と答えた生徒・保護者についての割合でグラフを作成。

【 生徒 】

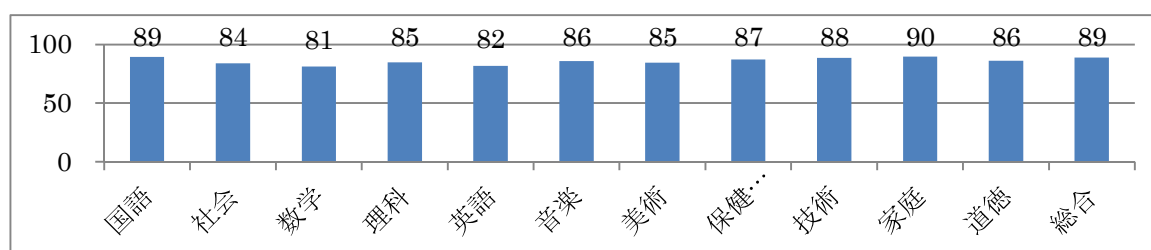
（1）生徒の各教科への取り組みについて

「興味・関心を持って取り組む」と「理解できる」という項目を別にして全校生徒に質問をした。

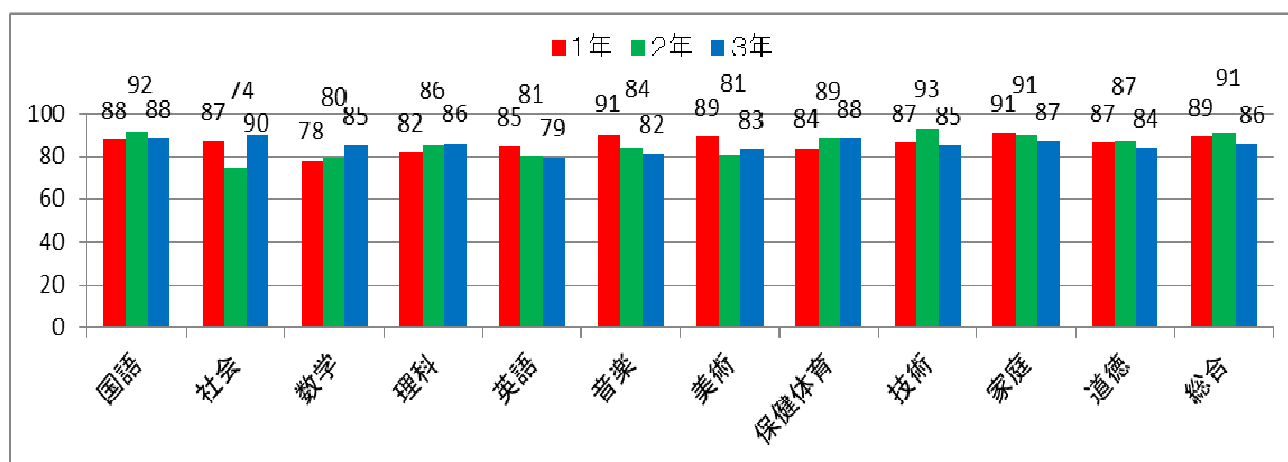
質問：学習への取り組み 「興味・関心を持って取り組む。」

<全校生徒>

昨年度（26年度）に比べ社会が5ポイントダウン、技術が3ポイントダウン以外は、どの教科も1～4ポイントよくなっている。

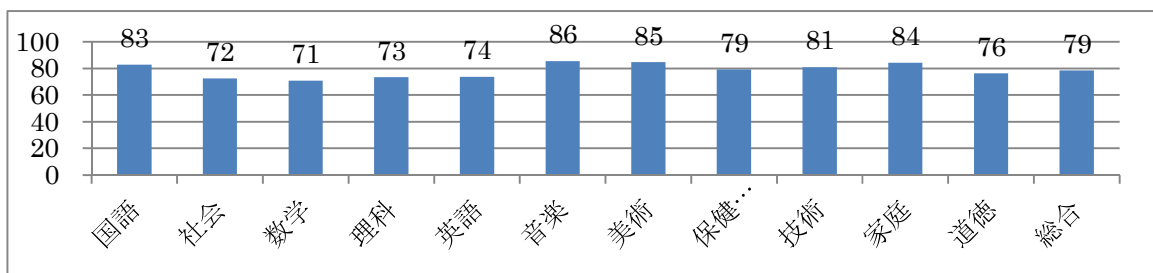


<学年別取り組み状況>

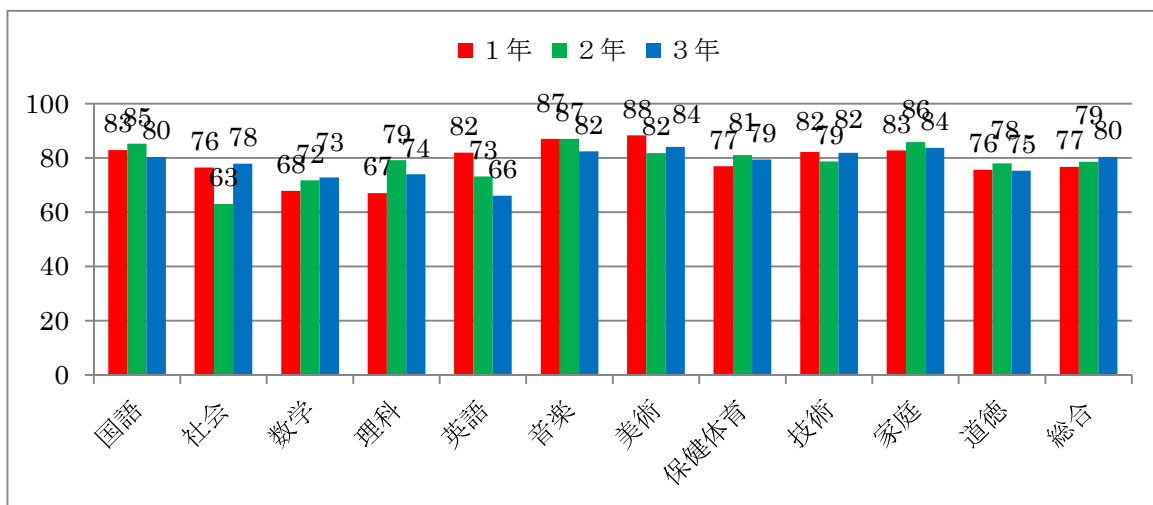


質問：学習の理解度 「(各教科について) 理解できる。」

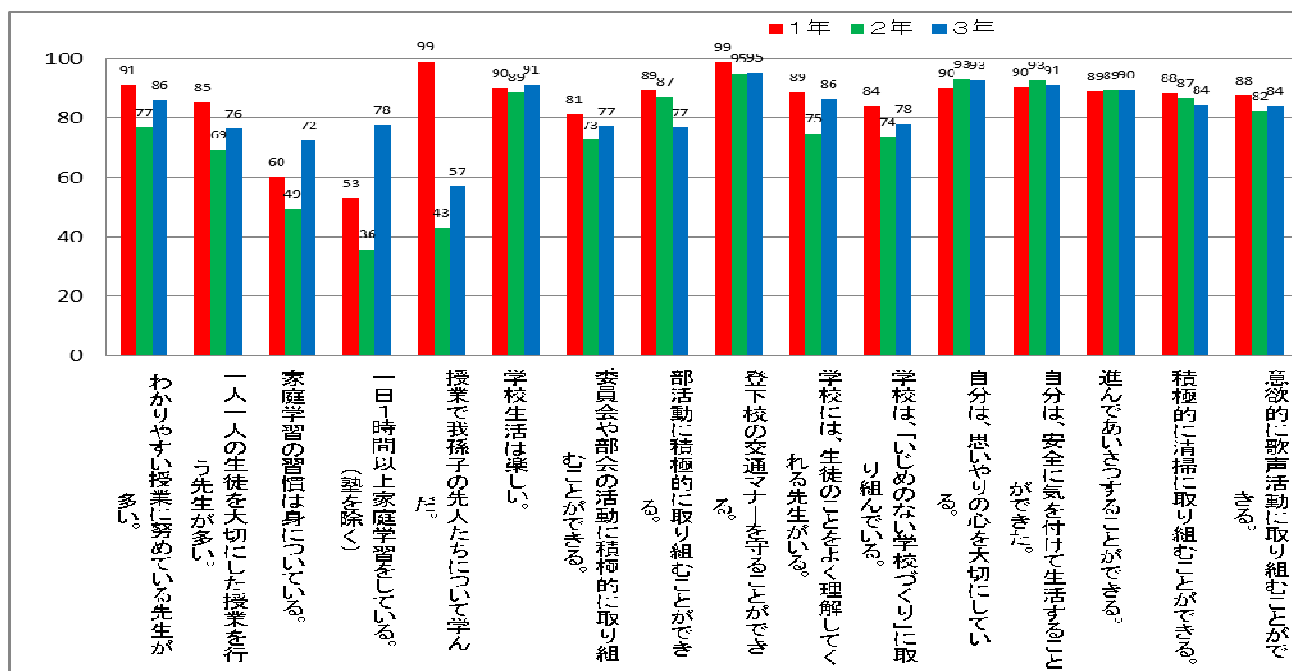
社会が9ポイント、技術が3ポイント、国語・数学・美術・家庭が昨年に比べ1ポイント下がり、それ以外の教科は昨年度と同様か、数ポイント上昇した。授業で活用力の習得を目指しているが、学習内容の定着も意識していく必要があると考える。



学年別に理解度を見る。



(2) 生徒の家庭学習・学校生活などについて



生徒の学習について

- ・「一人一人を大切に授業」は全体で4%昨年度に比べ上昇している。
- ・生徒の学習習慣は昨年度より下がり、61%（「家庭学習の習慣」2%ダウン）と55%（「1時間以上の家庭学習」1%ダウン）であり課題として残っている。
- ・「我孫子の先人たち」については全体で23%上がり、授業での実施が定着しつつある。

生徒の学校生活について

- ・学校生活はどの学年も昨年同様に85%以上の生徒が楽しいと感じている。
- ・我孫子中の3大伝統「挨拶」「清掃」「歌声活動」についても、昨年より1~2%上がって85~90%前後であり、更に自治的な活動を大切に、自己有用感・所属感を高めながら生徒を成長させたい。
- ・「思いやりの心を大切にしている」生徒の割合が、平成26年度の90%から92%へと上がっている。

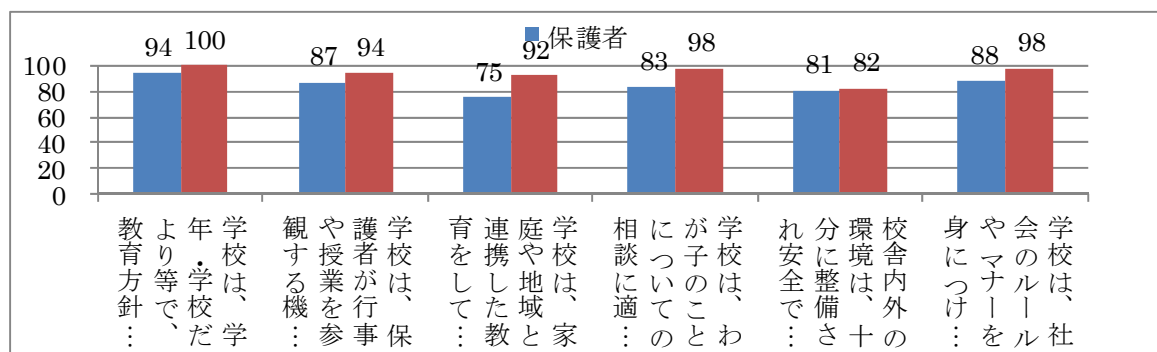
教師・学校の取り組み

- ・「生徒のことを理解する教師」は、平成25年度76%、26年度78%、今年度83%と伸びている。日常の、教師の声掛け・相談活動の結果だけでなく、アンケート結果やQU検査等を活用し生徒理解に力を注いできた成果が現れていると考える。
- ・「いじめのない学校づくり」は、平成25年度74%、26年度74%と横ばい状態だったが、今年度は78%で、4%上昇した。いじめのない学校づくりに向け、さらに学校全体で組織的な取り組みを強化していく。

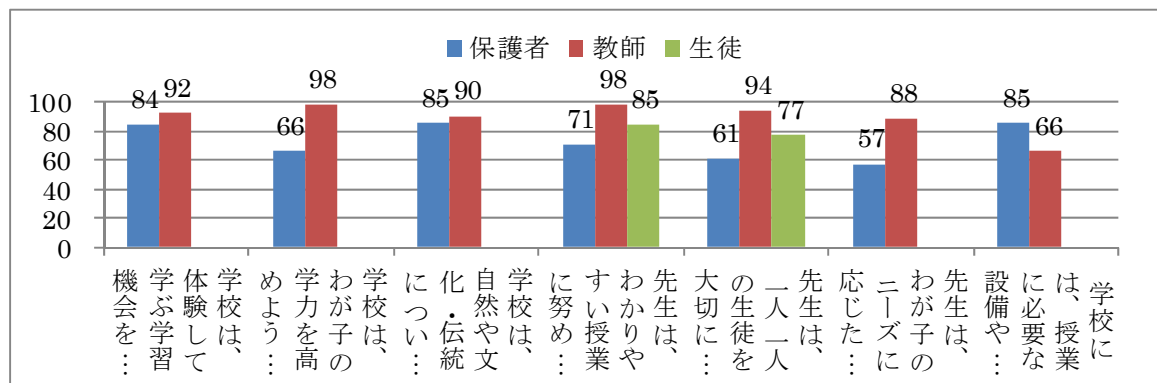
【 保 護 者 】

<教師と保護者と教師（と生徒）の回答を比較>

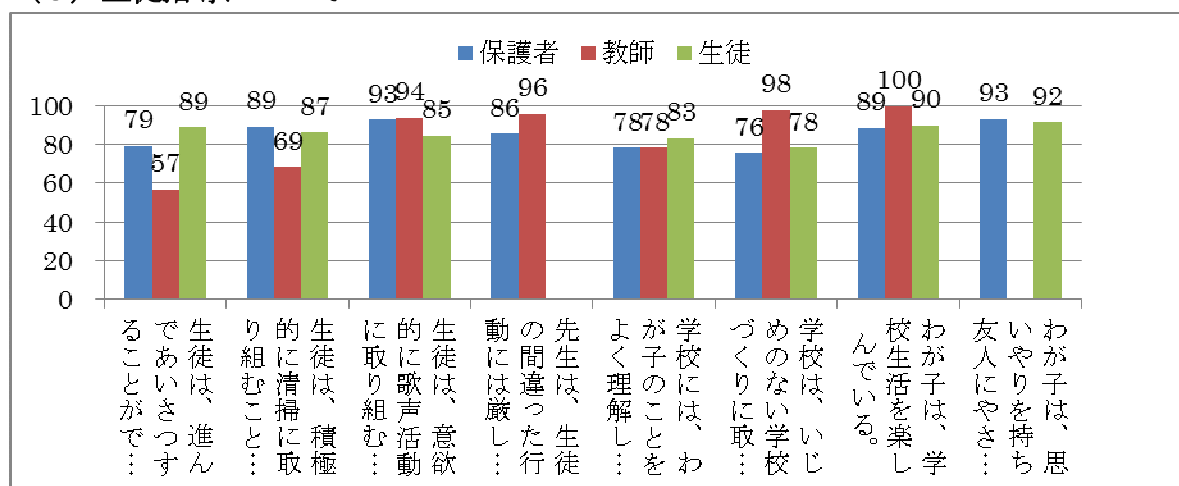
(1) 学校運営について



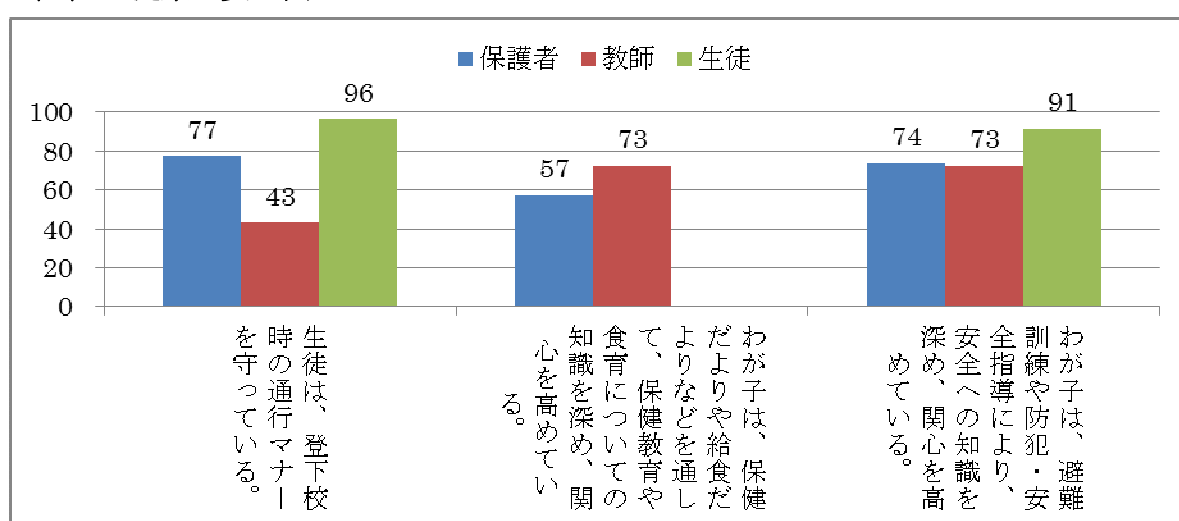
(2) 学習指導



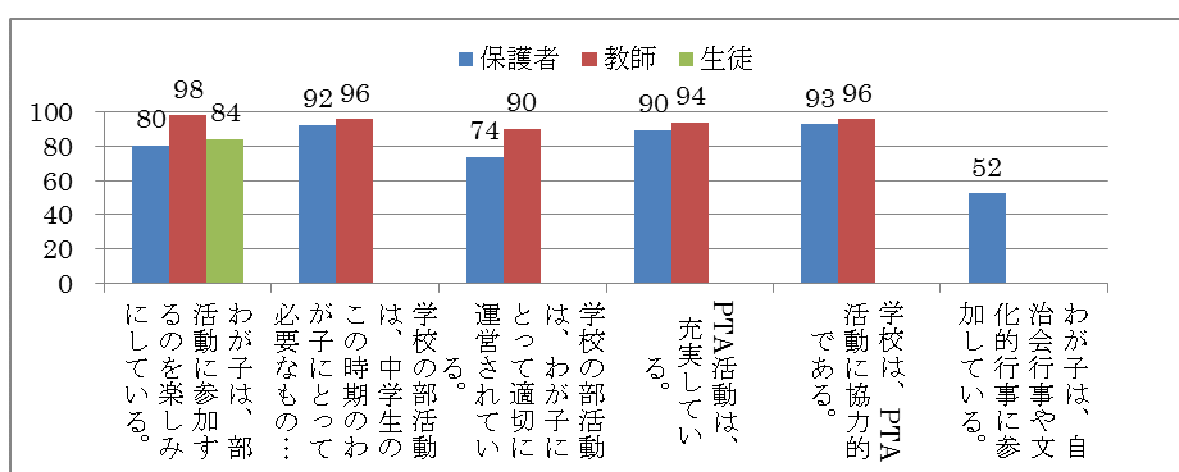
(3) 生徒指導について



(4) 健康・安全面について



(5) 部活動・PTA活動について



・「わかりやすい授業」については、保護者の評価が昨年度に比べて4%上昇し、「一人一人の生徒を大切に授業」も昨年度より保護者の評価が6%上昇、生徒の評価が4%上昇している。一方、今年度も昨年同様、教師と保護者や生徒の評価では差が見られるのは、学校の取り組みや成果が見えていないところがあるので、保護者会、学校だよりやホームページ等で伝えていく努力が必要である。

・「挨拶」や「清掃」については、昨年度と比べて教師の評価がそれぞれ、20%、25%と大きく上昇している。生徒会・委員会を中心とした生徒の自治的な取り組みにより、かなり改善してきているのがわかる。

・「登下校時のマナー」については、生徒は90%以上が守っていると回答しているが、教師の評価が30%下降し、保護者の評価も4%下降している。今年度は安全指導を昨年以上に行ってきたが、改善に向けて、さらに学校として取り組んでいきたい。

・部活動指導については指導方法等を改善し大切な教育活動として更に充実したものとしたい。

・「生徒の地域の行事への参加」が50%ほどで低いので、地域の行事を大切にする意識を学校としても高めていきたい。

<全体を通して>

① 生徒指導

・自転車の乗り方、登下校と安全指導を見直していく必要がある。年度当初の自転車講習だけでなく、日常的に交通マナーについて指導をしていく必要がある。併せて、マナーの指導も道徳や学活もさることながら、家庭での指導、生徒の自治活動を大切に、地域・家庭と協力して行っていきたい。

・携帯やメール等の情報教育は、保護者・PTAの協力を仰ぎながら、計画的に行っていきたい。

・挨拶については、職員の率先垂範に合わせ、本年同様、委員会活動を活性化し生徒会とも連携し重点的に取り組んでいく。

・いじめについては、人間関係作りやコミュニケーション能力を育てる指導と併せて学校全体でこれからも取り組んでいく。生徒の声に耳を傾け、日常の観察や生活記録帳でのやりとりも大切に、職員の横の連絡も密に情報交換をしながら迅速な対応をしていく。

② 学習指導

・重点項目のひとつである『学力向上』は、基礎基本の定着とアクティブ・ラーニング型授業の展開により、子ども達が「わかった」「学ぶのが楽しい」「もっと深めたい」と感じる授業づくりをしていきたい。教師の指導力アップに向け、校内外の研修だけでなく、教科部会を活用して日常的に授業について研修ができる体制にする。

・学区内の小学校とともに『共通の手立て』（「話し方・聞き方あいうえお」「グループ学習」など）に取り組み、小学校で習得した学習習慣を中学校でも継続できるようにする。

・補習や学習サポートについてもテスト前や放課後、今年度同様計画はしていくが、生徒が参加しやすいように呼びかけや時間の設定等、工夫をしていきたい。

③ 部活動指導

・結果偏重にならないように、体力向上や人間育成の場面と捉えて取り組んでいく。学習や家庭生活とのバランスも考慮し、週1日は完全休養日を設ける。

・下校時の安全指導について、さらに指導を徹底していく。

・部活動の計画、情報発信を積極的に行っていく。

・指導する際の言葉遣いや指導方法についての研修を行い、子どもたちにとって部活動が充実したものとなるようにしていく。

④ 教師の指導

・若手の職員が多くなってきた中、指導方法の研修のみならず、教員である前に社会人としての言葉遣いやマナー等も研修していく必要性も感じている。

⑤ その他

・HPの更新や情報提供・発信については機会を捉え丁寧に行っていきたい。特にHPについては組織の中で明確化し対応していきたい。

【学校評議員会議より】

- ・地域の活動(防災訓練やクリーン活動など)に中学生に参加させてほしい。
- ・三者面談は、2年生後半にも一度やった方が進路の見通しを持ちやすいのではないかな。
- ・部活動については、成長期の体への配慮や部活休養日などの配慮をしていった方がよい。また、保護者に協力してもらって運営するとよい。
- ・学校の指導について、授業等工夫して実施していることが保護者に伝わりづらい。広報の方法を考えていくとよい。学力について、保護者は自分の子どもを見て判断するので、保護者の満足するところまでいっていないのではないかな。
- ・教師の評価を見ると、学校運営の評価が高い。校長先生の学校経営に一枚岩になって、学校職員が取り組んでいるのを感じる。
- ・学校評価アンケートを記名式にしている学校もある。参考にしてみたいかな。